


GALE PRIMARY SOURCES

THE ILLUSTRATED
LONDON NEWS

世界初の絵入り新聞、イラストレイテッド・ロンドン・ニュースをフルカラーで再現し、フルテキスト検索



The Illustrated London News Historical Archive 1842-2003

The Illustrated London Historical Archive

1842

2003

本データベースは Illustrated London News の創刊号から最終号まで原紙に忠実にデジタル的に再現したものです。すべてのテキストが全文検索の対象になり、またカラーページも忠実に再現されています。

絵入り新聞の代名詞、 イラストレイテッド・ロンドン・ニュース

19世紀半ば、イギリスでは政治、経済、社会、文化、科学技術など各方面で変革が起こり、若い女王の下、人々は新しい時代の胎動を感じていました。メディアの分野でも、時代は新しい表現媒体を求めています。折しも、トマス・ビューイックにより再興された木工木版画が洗練の度を深め、新たな表現力を生み出すことに成功、人々のニーズを形にする技術的な受け皿が成立していました。洗練された木工木版画を多数掲載する形で創刊されたのがイラストレイテッド・ロンドン・ニュース (ILN) です。ILN は、図版でニュースを伝えるという、全く新しい発想の下、人々に同時代の出来事に関する鮮烈なイメージを植えつけ、*Lloyd's Illustrated London News*, *Pictorial Times*, *Pictorial World* など、後発の絵入り新聞・雑誌が長続きしなかったのに対して、絵入り新聞の代名詞として19世紀、20世紀を生き抜け、2003年、161年の歴史に幕を下ろしました。

近現代イギリス史における国家的イベントのクロニクル

イギリス内外の出来事に目配りを効かせていた ILN がとりわけ多くのページを割いて報道したのが、万国博覧会、鉄道の開通、議事堂や駅舎等の落成、国王や皇太子の外遊、外国の国家元首の戴冠式や国葬などの国家的イベントであり、一号まるごと当該イベントに費やすことも珍しくありません。ILN は、近現代イギリス史における国家的イベントのクロニクルです。

建築物図版の宝庫

19世紀イギリスでは、ゴシック建築が流行する一方で、世紀初頭のギリシア趣味に影響を受けた新古典主義も隆盛、その他に、ルネサンス様式、バロック様式など、様々な様式の建築が、芸術・文化施設、カントリーハウス、行政庁舎、教会、商業施設、ホテル等で、競うように建設されました。ILN と同じ年に創刊された "The Builder" をはじめ、"The Architect", "The Architectural Review", "British Architect", "The Building News" 等の建築雑誌が続々と創刊され、ジョン・ラスキンの『建築の七灯』に代表される建築批評が盛んになったヴィクトリア朝時代にあって、ILN は建築ジャーナリズムの一翼を担っていました。

大英帝国の図版メディア

ILN の図版製作は、国内外に派遣され、現地で大量のスケッチを描く特派員としての画家と、彼らから送られてくるスケッチを図版に仕上げるロンドンの工房スタッフの分業体制の下で運営されていました。中でも、海外の戦場に送られる従軍画家は "Special Artist" として紙面でも特別に遇されました。クリミア戦争の前線を報じたタイムズ特派員ウィリアム・ハワード・ラッセルとともに従軍記者が誕生したのと同様に、ILN 特派員ウィリアム・シンプソン、ロバート・トマス・ランデルス、ジョゼフ・アーチャー・クロウ、エドワード・アンジェロ・グッドールによるクリミア戦争のスケッチは従軍画家の誕生を告げるものでした。クリミア戦争以後も戦争が起こるたびに特派員を派遣した ILN には、戦地を描いた図版に加え、現地の日常生活の図版も多数掲載され、現代人にとっての極めて重要な視覚的情報源です。タイムズが大英帝国の活字メディアとして同時代の世界の時論、公論に影響を与えたとすれば、ILN は大英帝国の図版メディアとして、現代人が過去の大英帝国をイメージする際に大きな力になっています。

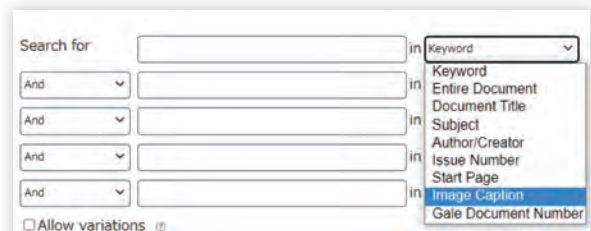
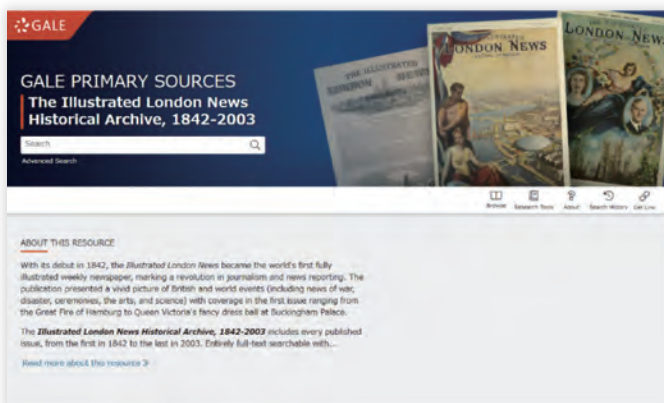


文芸記事、時評、コラムも充実

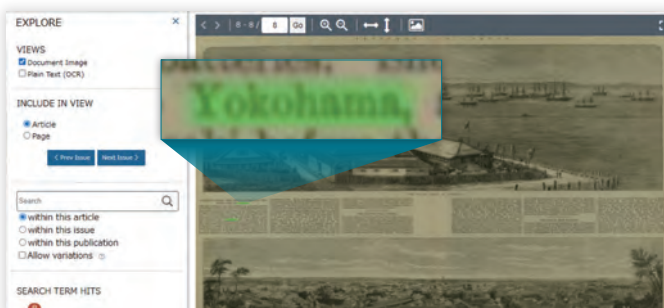
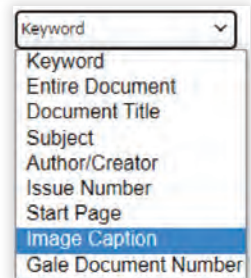
ILN は短編小説、連載小説など文芸記事も充実しています。寄稿者には、チェスタトン、ウィルキー・コリンズ、コンラッド、コナン・ドイル、ハーディ、ヘンリー・ジェイムズ、キップリング、サマセット・モーム、ジョージ・メリディス、R.L. スティーヴンソン、トロロップ、H.G. ウェルズなど有名作家の他、スティーヴン・クレイン、ホーソーン等のアメリカ人作家、女性作家もいます。また、時評やコラムも見逃せません。特に ILN の看板コラム「我々の覚書 (Our Note Book)」は、その 100 年の歴史で担当したのはわずかに 4 人にすぎず、3 代目のチェスタトンが 31 年間、4 代目のアーサー・ブライアントが 49 年間に亘り執筆を続けました。その他、謎の美術批評家グループ“P.R.B.”がラファエル前派の意味であることを突き止めたことで有名なゴシップ・コラム「巷談・雑談 (Town Talk and Table Talk)」、同じくゴシップ・コラムで、ジョージ・オーガスタス・サラらが、有名人のマナー、流行などの話題に鋭く切り込んだ「一週間のこだま (Echoes of the Week—Literary and Social)」、女性解放に生涯を捧げたフローレンス・フェンウィック・ミラーが 32 年間に亘って健筆を揮った女性向けの「淑女のためのコラム (The Ladies' Column)」が有名です。

特集号や補遺も含め完全揃いで提供

ILN は通常の号以外に、折に触れて特集号や補遺を刊行しました。特集号は、万国博覧会のような国際的なイベント、国内外の王室の式典、国民的英雄や桂冠詩人の逝去の際に臨時増刊号として刊行され、総力取材によって主題を多角的に掘り下げています。年末恒例のクリスマス特集号を含め、これらの特集号の数は、19 世紀だけでも 400 号以上に及びます。本データベースは、特集号や補遺を含めた形で、創刊号から終刊号まで完全揃いで搭載されています。古書市場でもフルセットで出回ることが難しい ILN を完全な形で閲覧できるのは、本データベースをおいて他にありません。



詳細検索では、掛け合わせ検索、フールド検索のほか、検索範囲をキーワード、全文、記事タイトル、主題、著者、号番号、開始ページ、図版キャプション、資料番号に指定して検索することができます。



図版キャプションも含め、一字一句フルテキスト検索。検索語はハイライト表示。



検索結果表示画面

ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整のビューワ機能の他、印刷、PDF ファイルのダウンロード、OCR テキストのダウンロード、書誌自動生成、書誌情報のエクスポート、メール配信、Google / Microsoft ログインとクラウド連携の諸機能を実装しています。

1842 >>> 1865

イギリス

1842 ILN 創刊 —9 ページ 1, 2

1844 王立取引所落成 —1

1845 ソルトヒル殺人事件 —9 ページ 6

1851 ロンドン万国博覧会 —2

1854 パディントン駅改装 —3

1858 国会議事堂時計塔（ビッグベン）完成 —4

1858 テムズ川大臭気 —5

1860 ヴィクトリア・タワー完成 —6

1863 ロンドン地下鉄開業 —7

1864 チャリング・クロス駅開業 —9 ページ 5



1 ウィリアム・タイト設計のギリシア神殿
風建築 (August 24, 1844)



3 クリスタル・パレスの先例に倣った
イサムバード・ブルーネル設計の鉄と
ガラスの駅舎 (July 8, 1854)



4 時計塔に吊される新しい鐘の運搬作業
(November 1, 1856)



2 ジョゼフ・パクストン設計の鉄とガラスの建築、クリスタル・パレス
(August 2, 1851)



5 大臭気を契機にテムズ川沿岸に整備さ
れた大排水路 (November 30, 1861)



6 ヴィクトリア・タワーからの上下両院
議事堂の眺望。チャールズ・バリー設計
のゴシック様式 (January 28, 1860)



7 メトロポリタン地下鉄道の開業前の試験
走行 (September 13, 1862)



5 テムズ川のパノラマ
(January 11, 1845)

世界

- 1848 フランス2月革命 —1
- 1852 ルイ・ボナパルト、ナポレオン3世として
皇帝に即位 —10 ページ2
- 1853 オスマンのパリ改造始まる —2
- 1853 クリミア戦争始まる —3
- 1859 第2次イタリア独立戦争 —10 ページ5
- 1860 アロー号戦争講和 —4

- 1861 南北戦争始まる —5
- 1862 文久遣欧使節 —6
- 1864 四国艦隊下関砲撃事件 —7
- 1865 リンカーン大統領暗殺 —8
- 1866 アメリカ国会議事堂ドーム完成 —9 ページ3



1 議場で兵士、議員、民衆に囲まれる
オルレアン公妃とその子パリ伯らの王族
(March 4, 1848)



3 セバストーポリ要塞陥落を決定づけた
フランス軍によるマラコフ砲台制圧
(September 22, 1855)



4 講和条約締結のため北京に入城する
エルギン卿一行 (January 5, 1861)
[画: チャールズ・ワグマン?]



6 第2回ロンドン万博会場を見学する文久
遣欧使節団 (May 24, 1862)



2 オスマンのパリ改造によりセーヌ川の埠頭は整備され、パリの名所になった
(August 17, 1861) [画: フランク・トリニ]



5 マナサスの戦いで北軍の敗北
(November 15, 1862)



7 下関砲台を占拠する四国連合軍
(December 24, 1864)
[画: チャールズ・ワグマン]



8 リンカーン大統領の国葬。ニューヨーク
のシティホールに到着するリンカーンの
遺体 (May 20, 1865)

1866 >>> 1881

イギリス

- 1866 キャノン・ストリート駅開業 —10 ページ1
1868 外務省新庁舎完成 —10 ページ9
1870 ディケンズ死去 —1
1871 アルバート・ホール完成 —2
1871 バンクホリデイ始まる —3
1875 マッシュュー・ウェブ初めてドーバー海峡を泳いで渡る —4
1875 タクシー運転手の休憩所、ロンドンに設置 —5
1878 遊覧船プリンセス・アリス号、テムズ川で沈没 —10 ページ6
1877 ローン・テニス選手権（ウィンブルドン選手権）第1回大会 —6
1879 ロンドンに電灯 —7
1879 オーガスタス・ハリス、ドルーリー・レイン劇場の支配人に就任 —9 ページ4
1879 スコットランドのテイ橋、列車走行中に崩落 —8
1879 グラッドストーン、ミドロジアン・キャンペーン —9
1880 オーストラリアから冷凍船での冷凍肉の輸送始まる —10 ページ7
1881 ディズレーリ死去 —10



2 アルバート・ホール開館。設計はフランシス・フォークが行ない、その死後、ヘンリー・スコットが引き継いだ (April 8, 1871)



3 バンクホリデイのハムステッド・ヒース (May 25, 1872)



4 月明かりの中、コーヒーを受け取るウェブ (August 21, 1875)



5 セント・ジョンズ・ウッドのアカシア・ロード (February 20, 1875)



6 ローン・テニス選手権の決勝戦 (July 24, 1880)



7 ロンドン市長公邸前の電灯 (April 9, 1881)



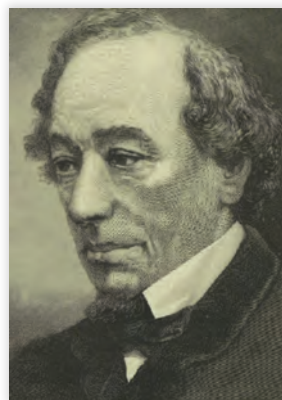
1 (March 19, 1870)



8 1年前に完成したばかりのスコットランドのテイ橋が列車走行中に強風のため崩落、乗客75人が犠牲となった (January 10, 1880)



9 地元のエジンバラの群衆に向けて演説をするグラッドストーン。選挙民に直接語りかけるその選挙戦術は、大衆社会の時代の選挙を先取りするものだった (April 10, 1880)



10 (April 23, 1881)

世界

- 1869 スエズ運河開通 — 1
- 1870 普仏戦争 — 2
- 1871 パリ・コミューン — 3
- 1871 スタンリー、アフリカで行方不明になった
リビングストーンを発見 — 4
- 1872 新橋・横浜間で日本の鉄道開業 — 5
- 1873 ミケランジェロのダビデ像移設される
— 10 ページ 3
- 1875 パリオペラ座落成 — 6
- 1876 セルビア・トルコ戦争 — 7
- 1877 エジソン、蓄音機を発明 — 8
- 1877 西南戦争 — 9
- 1878 露土戦争講和ベルリン会議 — 10
- 1878 第二次アフガン戦争 — 11
- 1879 プリンス・ウジェース、ズールー戦争で戦死 — 12



1 開通した運河を通行する船
(December 18, 1869)



2 カフェで戦争談義をするパリ市民
(September 17, 1870)



3 リュクサンブール公園でのコミューン派
四人に対する銃殺刑 (June 17, 1871)



4 現在のタンザニアのウジジでの発見の瞬間の様子はスタンリー自身により正確に再現された (August 10, 1872)



5 開業式場に入場する天皇
(December 21, 1872)



6 シャルル・ガルニエ設計のパリ新オペラ座
(January 2, 1875)



7 ヘルツェゴヴィナから避難してきた難民を襲撃するオスマン帝国の傭兵、バシ・バズーク (August 19, 1876) [画: ウィリアム・シンプソン]



8 蓄音機で話をするエジソン
(July 21, 1888)



9 戦地に向かう東京警視隊
(October 13, 1877)



10 ベルリン会議に参加する各国全権大使
(June 22, 1878)



11 カブルへの道
(October 4, 1879)
[画: ウィリアム・シンプソン]

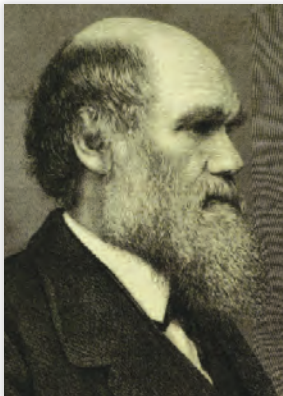


12 ナポレオン3世の息子プリンス・ウジェースは第2帝政崩壊後イギリスへ亡命、長じてイギリス軍人としてズールー戦争に従軍するも、ズールー族の襲撃に遭い戦死 (July 16, 1879)

1882 >>> 1900

イギリス

- 1882 ダーウィン死去 — 1
- 1883 電気路面電車営業運転開始 — 10 ページ 4
- 1886 チャールズ・ブースのロンドン社会調査始まる — 10 ページ 8
- 1887 ヴィクトリア女王即位 50 周年 — 2
- 1887 サヴォイホテル落成 — 3
- 1888 切り裂きジャック事件 — 4
- 1990 フォースブリッジ落成 — 5
- 1994 タワーブリッジ落成 — 6
- 1897 ヴィクトリア女王即位 60 周年 — 7
- 1898 グラッドストーン死去 — 8
- 1899 南アフリカ戦争始まる — 9



1 (April 29, 1882)



2 女王即位 50 周年を祝って横断幕を掲げるストランド通りのイラストレイテッド・ロンドン・ニュース社屋 (July 2, 1887)



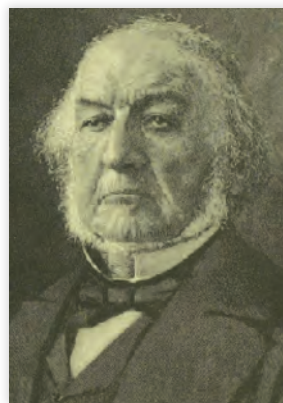
3 電気照明、多数のバスルーム付客室など、高級ホテルの代表 (October 26, 1889)



4 連続殺人事件が解決されない中結成された自警団の巡回に ILN 記者が同行、ホームレスや不審人物を描いた (October 13, 1888)



5 フォース川の河口兩岸が最接近するエジンバラ西部のクウィーンズフェリーに建設された鉄橋。下は橋の力学原理を示すためカンチレバーに座る人々 (October 19, 1889)



8 (May 21, 1898)



6 テムズ川兩岸の間の交通緩和を目的として 8 年がかりで建設。当時は珍しい水力を用いて開閉するバスキュール式の橋 (June 30, 1894)



7 ウェストミンスター橋を行進する女王一行 (June 26, 1897)



9 レディスマス解放の知らせに歓喜に沸くロンドン市民 (March 10, 1900)

世界

1884 清仏戦争 — 1

1885 ゴードン、スーダンのハルツームで戦死 — 2

1885 ヴィクトル・ユゴー死去 — 3

1889 パリ万国博覧会 — 4

1890 ビスマルク失脚 — 5

1894 日清戦争 — 6

1897 ギリシア・トルコ戦争 — 7

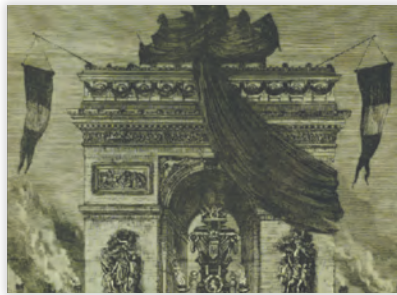
1898 米西戦争 — 8

1899 南アフリカ戦争 — 9

1900 義和団事件 — 10



1 福州の橋を渡る清国軍
(September 6, 1884)



3 凱旋門に置かれたユゴーの棺
(June 6, 1885)



5 ビスマルクに別れを告げる群衆
(April 5, 1890)



2 ゴードンの最期
(November 28, 1897)



4 1889年のパリ万博の代名詞となったエッフェル塔。毎週日曜日に開かれた完成前の内覧会で螺旋階段を登る淑女たち
(February 9, 1889)



8 プエルトリコのサンファンを行進するスペイン軍兵士
(April 30, 1898)



10 駐屯地で入隊登録する義和団兵士
(July 14, 1900)



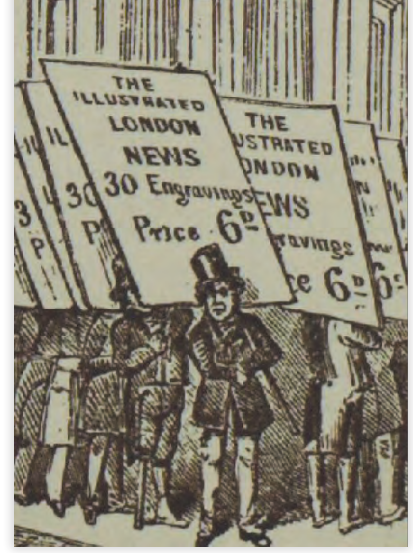
6 平壤の大同江の橋の門に入る日本軍
(November 24, 1894)



7 カネアの城門で武器を取り上げられるオスマン・トルコの備兵、バシ・バズーク
(April 24, 1897)



9 戦場の最初の死傷者に敬礼するイギリス軍の伝統に従い、モダ川の戦いで最初の負傷者に敬礼するイギリス軍将校
(December 30, 1899)

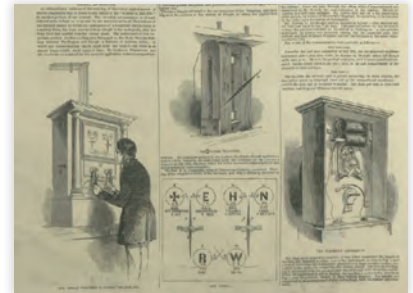


1 「イラストレイテッド・ロンドン・ニュース、木版画 30 枚、土曜日発売」と書いたプラカードを街頭で 200 人に掲げさせ、創刊号を宣伝した。
(May 16, 1942)



5 チャリング・クロス・ホテルと駅舎。客室 200 室以上の当代有数の大規模ホテル (June 11, 1864)

2 ILN が創刊された年、クロードがヨーク公記念碑から撮影した一連の写真を基に木版画家が作成したロンドン市街のパノラマ画を購読者に販促用に寄贈、一大センセーションを巻き起こした。上はヨーク公記念碑から北を、下は南を一望した画 (May 16, 1942)



6 殺人事件の犯人逮捕に電信が役立ち、その効用を世に知らしめた (January 11, 1845)



3 ワシントン鳥瞰図。前景に、南北戦争により拡張工事が中断したアメリカ国会議事堂。ドームもまだ据えられていない (May 25, 1861)



4 ハリスの時代のドルーリー・レイン劇場はクリスマスのパントマイムとスペクタクルな演出が特徴。上は「ロビンソン・クルーソー」のパントマイム (January 6, 1894) 下は「ホワイトヘザー」の水中決闘シーン。照明とカーテンがスペクタクルな効果を高めた (October 2, 1897)



愛宕山から見た江戸のパノラマ。フェリーチェ・ベアトが撮影した写真をもとにワーグマンがスケッチ
(October 29, 1864)



1 サウス・イースタン鉄道の新しいターミナル駅として、シティのテムズ川沿いに開業したキャノン・ストリート駅
(September 8, 1866)



2 皇帝ナポレオン3世のパリ入城
(December 11, 1852)



3 展示場所を変更するため、フィレンツェのシニョーリア広場を移動するミケランジェロのダビデ像
(August 16, 1873)



4 キューブリッジで試験走行する電気路面電車
(March 17, 1883)



5 ソルフェリーノの戦い (July 30, 1859)
[画：ジャン・アドルフ・ボース]



6 遊覧船プリンセス・アリス号が月明かりの中テムズ川を遊覧中、石炭運搬船と衝突、大破して沈没、乗客600名以上が犠牲になり、史上最悪のテムズ川での水難事故となった (September 14, 1878)



7 オーストラリアからの冷凍肉の荷揚げ作業
(November 19, 1881)



8 ロンドンの貧民街、画はブルームズベリー地区チャーチレン
(March 13, 1875)



9 完成途上の外務省ビルのセント・ジェームズ・パークに面する正面。設計はゴシック・リヴァイヴァルを先導した建築家ギルバート・スコット。ゴシック様式による設計案がパーマストン首相の不興を買うと、外務省ビルの建築家としての名前を後世に残すために、涙を飲んでルネサンス様式で設計した (October 6, 1866)

〈 Gale Primary Sources で横断検索できるアーカイブ 〉

初期近代から近現代

- ◆ Archives Unbound
- ◆ Eighteenth Century Collections Online
- ◆ The Making of the Modern World
- ◆ Sabin Americana: History of the Americas, 1500-1926
- ◆ Slavery and Anti-Slavery: A Transnational Archive

19 世紀

- ◆ American Fiction, 1774-1920
- ◆ Brazilian and Portuguese History and Culture
- ◆ China and the Modern World
- ◆ Crime, Punishment, and Popular Culture, 1790-1920
- ◆ Indigenous Peoples of North America
- ◆ Nineteenth Century Collections Online

現代

- ◆ Archives of Sexuality and Gender
- ◆ Associated Press Collections Online
- ◆ Declassified Documents Online: Twentieth-Century British Intelligence
- ◆ Political Extremism and Radicalism
- ◆ Public Health Archives: Public Health in Modern America, 1890-1970
- ◆ Refugees, Relief, and Resettlement: Forced Migration and World War II
- ◆ Religions of America
- ◆ Smithsonian Collections Online
- ◆ U.S. Declassified Documents Online
- ◆ Women's Studies Archive

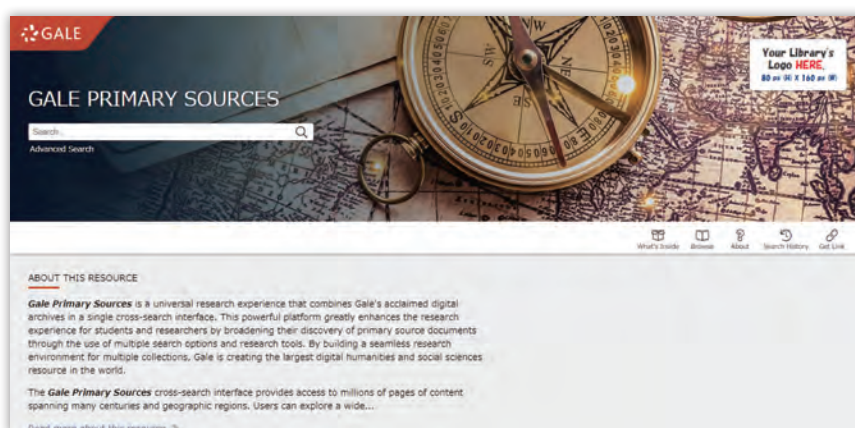
法律

- ◆ The Making of Modern Law: American Civil Liberties Union Papers
- ◆ The Making of Modern Law: Foreign Primary Sources
- ◆ The Making of Modern Law: Foreign, Comparative, and International Law, 1600-1926
- ◆ The Making of Modern Law: Landmark Records and Briefs of the U.S. Courts of Appeals
- ◆ The Making of Modern Law: Legal Treatises, 1800-1926
- ◆ The Making of Modern Law: Primary Sources
- ◆ The Making of Modern Law: Trials, 1600-1926
- ◆ The Making of Modern Law: U.S. Supreme Court Records and Briefs, 1832-1978

新聞・雑誌

- ◆ Amateur Newspapers from the American Antiquarian Society
- ◆ American Historical Periodicals from the American Antiquarian Society
- ◆ British Library Newspapers
- ◆ Daily Mail Historical Archive
- ◆ The Economist Historical Archive
- ◆ Financial Times Historical Archive
- ◆ The Illustrated London News Historical Archive, 1842-2003
- ◆ The Independent Historical Archive
- ◆ International Herald Tribune Historical Archive, 1887-2013
- ◆ Liberty Magazine Historical Archive, 1924-1950
- ◆ The Listener Historical Archive, 1929-1991
- ◆ Mirror Historical Archive, 1903-2000
- ◆ Nineteenth Century U.S. Newspapers
- ◆ Nineteenth Century UK Periodicals
- ◆ Picture Post Historical Archive, 1938-1957
- ◆ Punch Historical Archive, 1841-1992
- ◆ Seventeenth and Eighteenth Century Burney Newspapers Collection
- ◆ Seventeenth and Eighteenth Century Nichols Newspapers Collection
- ◆ The Sunday Times Historical Archive
- ◆ The Telegraph Historical Archive
- ◆ The Times Digital Archive
- ◆ The Times Literary Supplement Historical Archive

(2022 年 3 月現在)



〈 それ以外のアーカイブ 〉

- ◆ British Literary Manuscripts Online
- ◆ Early Arabic Printed Books from the British Library
- ◆ National Geographic Virtual Library
- ◆ Chatham House Online Archive
- ◆ State Papers Online
- ◆ World Scholar: Latin America and the Caribbean



すべてのコンテンツと機能をお試しいただける 1 ヶ月の無料トライアルをご提供しております。
商品に関するお問い合わせは、センゲージャーニング株式会社までお願いします。

Tel : 03-3511-4390 E-mail : GaleJapan@cengage.com URL : www.gale.com/jp